

インターシップ

トに156人参加

トに156人が参加。5月に始まった各プロジェクトも全てが終了した。知恵を絞り、仲間と助け合い、社会人の助言を受けながら目標に向かってまい進してきた学生たちの奮闘の一部を紹介する。

ポスター作り

川崎市技能職団体連絡協議会青年部の「職人さんの素晴らしさ、技術の楽しさを伝えよう」という呼びかけに応じたのは伊藤亜香さん(経営2)、小澤僚さん(人間科学2)、吉田麻里亜さん(文1)の女子3人。職人の技を披露する「技能フェスティバル2015」(9月27日、高津区5)に3人で相談し、大

「とにかく本好きが集まった」のが北野書店チーム。3年次生主体で10人が参加した。JR南武線鹿島田駅前の北野書店は、地域密着型の書店。課題は「売りのための企画考案」という自由度が高いものだった。チームが提案したのはブックフェアやイベント。ブックフェアは「専



▲ 学生が製作したポスター

大学生の約4割がInstagram(インスタグラム)を「最も大学生らしいSNS」と評価。経営学部石崎徹ゼミ(ともに3年次)が参加した「第21回大学生意識調査プロジェクト」で、学生たちは公益社団



▲ 記者発表会で堂々と発表する学生たち

研究を行い、報告書を作成した。12月4日、東京・電通銀座ビルで行われた記者発表会では、「LINEは大学生にとっての『ライフライン』」など5つのトピックを挙げ、従来との比較や新傾向を報告。写真投稿SNSのインスタグラムが一番高く評価されている結果を受け、写真を軸とした

技能フェスティバル

ター作りに取り組んだ。同青年部の課題解決型インターシップは今回が初めて。「青年部では後継者不足が悩み。仕事を継いで来ようという熱意に打たれた」と伊藤さんは話

写真軸に行動モデル

プロジェクトには、首都圏で広告やマーケティングを学ぶ6大学(専修、青山学院、駒澤、上智、千葉商科、日本)の学生有志が参加。2010年、12年に続き3回目となるSNSに関するアンケート調査を実施し

「LINEは大学生にとっての『ライフライン』」など5つのトピックを挙げ、従来との比較や新傾向を報告。写真投稿SNSのインスタグラムが一番高く評価されている結果を受け、写真を軸とした



▲ 歌を披露する永井さん(左)と杉山さん

披露した。専大生はこのほか、ワークショップやウォークラリー、ミニゲームで来場者をもてなした。リーダーの岡田理恵子さん(文2)は「子どもたちの笑顔を見ることができてよかった」とこぼり。柿生中央商店会の赤本昌広会長は「柿生のPRにテーマソングを活用していきたい」という。

「とにかく本好きが集まった」のが北野書店チーム。3年次生主体で10人が参加した。JR南武線鹿島田駅前の北野書店は、地域密着型の書店。課題は「売りのための企画考案」という自由度が高いものだった。チームが提案したのはブックフェアやイベント。ブックフェアは「専

座学とグループ活動を通じ、社会で必要とされるリーダーシップ能力を身につける「専修リーダーシップ開発プログラム」第3期「蒼翼の学舎」の企画や地域の活性化(「キャリアデザインセンター主催」)の最終報告会。修了式が12月3日、生田キャンパスで開かれた。154年次生22人が、プレゼンテーション



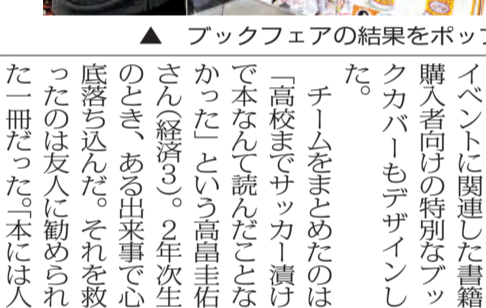
▲ 活動報告の後、専大出身の経営者2氏と長谷川

の鹿による食害の解決策として、猟師に同行して駆除の実態を知るエコツアーを企画。規制などにより実現不可能とわかりモチベーションを失いかけたものの、講座で学んだ知識を生かし、乗り越えることができた。現在は、鹿皮を利用した新たな企画を模索中であると発表した。

♪かきかきかきくけこ かきお 友達いっぱい 日本最古の甘柿・禅寺丸柿の産地、川崎市麻生区柿生。10月17日に開催された恒例の「禅寺丸柿まつり」で、にぎやかな音楽が響いた。柿生中央商店会主催のまつりの運営には毎年専大生が参加しており、今年あふれる街」などのキーワードを決めた。これを

ダンスグループ「bless4(ブレスフォー)」に作詞作曲を依頼した。仕上がったのはテンポのいい「柿生のうた かきくけかきお」。禅寺丸柿の目線で作ったという親しみやすい歌詞と覚えやすいメロディーで、来場者の心をつかんだ。「小さい子でもリズムに乗れる曲になった」と杉山さんと永井さんはともに「柿生のうた」を披露した。

書店の販売促進



▲ ブックフェアの結果をポップで紹介

11月に同書店で開催したイベントでは、装飾品作り、会場設営をはじめ、抽選会やミニゲームなどの運営、さらにはイベントに関連した書籍購入者向けの特別なブックカバーもデザインした。チームをまとめたのは「高校までサッカー漬けで本なんて読んだことなかった」という高島圭佑さん(経営3)。2年次生

コンテストは、学生がビジネスモデルを考え、内容のユニークさや着眼点を競う。今年は昨年を上回る44組がエントリー。第一次審査を通過した10組がプレゼン大会に臨み、廃棄食材を活用したレストラン、学習支援

中嶋さんは「親戚が徘徊問題で困っていると聞いたのが、今回のプランを考えたまっかかりです。これまで幾つもビジネスプランを考えてきました。初めは、鳳賞に選ばれ、驚いています」と語った。 専大生は「LINEは大学生にとっての『ライフライン』」など5つのトピックを挙げ、従来との比較や新傾向を報告。写真投稿SNSのインスタグラムが一番高く評価されている結果を受け、写真を軸とした

歌で盛り上げる

禅寺丸柿まつり

本好きが企画、実施



▲ ブックフェアの結果をポップで紹介

「高校までサッカー漬けで本なんて読んだことなかった」という高島圭佑さん(経営3)。2年次生

第14回専大ベンチャービジネスコンテスト

中嶋さんが鳳賞



▲ BLE機器を手にビジネスプランを熱弁する中嶋さん

「アイデアを考えるのが好きで、常にビジネスチャンスを探っている」と話す中嶋さんの発表テーマは「深刻化する老人徘徊問題の解決」ともっと豊かな生活の実現で社会に貢献!! BLEを用いた行動科学ビジネスが世の中を変える。小型、省電力の近距離無線通信技術BLE(Bluetooth Low Power)を活用し、機器を持った人の居場所を探システムと、そのシステムを用いたビジネス

中嶋さんは「親戚が徘徊問題で困っていると聞いたのが、今回のプランを考えたまっかかりです。これまで幾つもビジネスプランを考えてきました。初めは、鳳賞に選ばれ、驚いています」と語った。 専大生は「LINEは大学生にとっての『ライフライン』」など5つのトピックを挙げ、従来との比較や新傾向を報告。写真投稿SNSのインスタグラムが一番高く評価されている結果を受け、写真を軸とした

「アイデアを考えるのが好きで、常にビジネスチャンスを探っている」と話す中嶋さんの発表テーマは「深刻化する老人徘徊問題の解決」ともっと豊かな生活の実現で社会に貢献!! BLEを用いた行動科学ビジネスが世の中を変える。小型、省電力の近距離無線通信技術BLE(Bluetooth Low Power)を活用し、機器を持った人の居場所を探システムと、そのシステムを用いたビジネス

中嶋さんは「親戚が徘徊問題で困っていると聞いたのが、今回のプランを考えたまっかかりです。これまで幾つもビジネスプランを考えてきました。初めは、鳳賞に選ばれ、驚いています」と語った。 専大生は「LINEは大学生にとっての『ライフライン』」など5つのトピックを挙げ、従来との比較や新傾向を報告。写真投稿SNSのインスタグラムが一番高く評価されている結果を受け、写真を軸とした

中嶋さんは「親戚が徘徊問題で困っていると聞いたのが、今回のプランを考えたまっかかりです。これまで幾つもビジネスプランを考えてきました。初めは、鳳賞に選ばれ、驚いています」と語った。 専大生は「LINEは大学生にとっての『ライフライン』」など5つのトピックを挙げ、従来との比較や新傾向を報告。写真投稿SNSのインスタグラムが一番高く評価されている結果を受け、写真を軸とした

中嶋さんは「親戚が徘徊問題で困っていると聞いたのが、今回のプランを考えたまっかかりです。これまで幾つもビジネスプランを考えてきました。初めは、鳳賞に選ばれ、驚いています」と語った。 専大生は「LINEは大学生にとっての『ライフライン』」など5つのトピックを挙げ、従来との比較や新傾向を報告。写真投稿SNSのインスタグラムが一番高く評価されている結果を受け、写真を軸とした

中嶋さんは「親戚が徘徊問題で困っていると聞いたのが、今回のプランを考えたまっかかりです。これまで幾つもビジネスプランを考えてきました。初めは、鳳賞に選ばれ、驚いています」と語った。 専大生は「LINEは大学生にとっての『ライフライン』」など5つのトピックを挙げ、従来との比較や新傾向を報告。写真投稿SNSのインスタグラムが一番高く評価されている結果を受け、写真を軸とした

課題解決型インターンシッププロジェクト

地域の商店街や企業、団体が抱える課題について、専大生が学部学年の枠を超えチームを組んで解決策を探るキャリアデザインセンター主催の「課題解決型インターンシップ」。本年度は19プロジェクト

職人と交流して



職人技の世界を盛り上げた吉田さん、伊藤さん、一人おいて小澤さん(左から)

「おきなわで」お腹を満たしませんか」「背中をさくさくして」「意表を突くコピーは沖繩そばの麵打ち体験と、習字の文字をプリントするTシャツ作りを表現した。学生寮の交流イベントのポスターだ。学生寮を展開する共立メンテナンスの課題は、入居者に愛着を持って住んでもらうための企画を立て実施すること。沖繩県出身の謝花隆之さん(人間科学2)は「書けただけでなく、着られるなら喜んでもらえよう」と特殊な墨を使った留学生向けの習字体験を考えた。

11月22日の実施に向けて、メンバー3人は必要な道具の調達方法や細かい段取りを確認。川上直希さん(経営2)は同社が実施する入居者対象のイベントに参加し、運営の仕方を観察した。麵棒の代わりに使うラップの芯でうまく麵が打てるように、専門店事前に修整させた。

準備は着々と進んだが、結末は無念の中止。近隣などから集まった16人が、3人の案内で生田緑地内3館を巡った。

「外は白壁でも内側は土壁。体面を重んじている。実は質素という家の本質を表しています」

日本民家園では16、19世紀初頭に建てられた古民家群を前に高野陽一さん(経済1)が説明した。3人は半年かけて生田緑地について学んだ。その結果は「普段は見どころが分からず、さーっと回ってしまうけど、丁寧に教えてもらって参考になった」と参加者から高い評価を受けた。

リーダーの荻原鳴海さん(経営3)は川崎出身で生田緑地は幼い頃からなじみの場所。「でも知らないこともたくさんあった。ガイドツアーをすることで自分の理解も深まった。地元を発信できてよかった」と紹介を終え、肩の力を抜いた。

ツアーの最後には明治期の民家でお茶席を用意した。一木なつみさん(経営1)は「大学のこんな近くに生田緑地の魅力をもっと伝えたい」と笑顔を見せた。



王子様がPR

地域を歩いて、提示された謎を解きながら物語を進める「リアル謎解きゲーム」。課題解決型インターンシップとして2回目となる本年度は、3年次生15人が「謎解きゲーム(エンigma)」を構成して取り組んだ。

9月から11月まで、第一弾の舞台は生田緑地。続いて登戸、向ヶ丘遊園駅周辺エリアを巡るゲームを用意した。リアル謎解きゲームでは、配布されたゲームブックを手に公園や街を回り、各ポイントに隠されたヒントを基にホームページに答えを入力。すると物語の結末を見ることが出来る。普通には見落としてしまいがちなことも、ゲームを楽しくしながら発見してもらえたのではないかとリーダーの三浦和己さん(経営1)は満足している。

「おきなわで」お腹を満たしませんか」「背中をさくさくして」「意表を突くコピーは沖繩そばの麵打ち体験と、習字の文字をプリントするTシャツ作りを表現した。学生寮の交流イベントのポスターだ。学生寮を展開する共立メンテナンスの課題は、入居者に愛着を持って住んでもらうための企画を立て実施すること。沖繩県出身の謝花隆之さん(人間科学2)は「書けただけでなく、着られるなら喜んでもらえよう」と特殊な墨を使った留学生向けの習字体験を考えた。

王子様がPR

学生寮のイベント考案

11月22日の実施に向けて、メンバー3人は必要な道具の調達方法や細かい段取りを確認。川上直希さん(経営2)は同社が実施する入居者対象のイベントに参加し、運営の仕方を観察した。麵棒の代わりに使うラップの芯でうまく麵が打てるように、専門店事前に修整させた。

準備は着々と進んだが、結末は無念の中止。近隣などから集まった16人が、3人の案内で生田緑地内3館を巡った。

「外は白壁でも内側は土壁。体面を重んじている。実は質素という家の本質を表しています」

日本民家園では16、19世紀初頭に建てられた古民家群を前に高野陽一さん(経済1)が説明した。3人は半年かけて生田緑地について学んだ。その結果は「普段は見どころが分からず、さーっと回ってしまうけど、丁寧に教えてもらって参考になった」と参加者から高い評価を受けた。

生田緑地ぐるっとガイドツアー

生田緑地内3館を巡った。

「外は白壁でも内側は土壁。体面を重んじている。実は質素という家の本質を表しています」

日本民家園では16、19世紀初頭に建てられた古民家群を前に高野陽一さん(経済1)が説明した。3人は半年かけて生田緑地について学んだ。その結果は「普段は見どころが分からず、さーっと回ってしまうけど、丁寧に教えてもらって参考になった」と参加者から高い評価を受けた。



古民家について説明する荻原さん(左から4人目)

学生部講座

護身術を体験

とっさのときに身を守る術を習得しようとして12月11日、神田キャンパスで護身術講座があった。一部、二部の学生計22人が参加。簡単な身のかわり方などを学んだ。写真。

警視庁神田警察署の署員7人が指導に当たった。学生たちはグループに分かれて実技に挑戦。胸元をつかまれたとき、腕をどられたとき、羽交い締めをされたとき、それぞれどのような体さばりをするかを練習した。



印象よくする振り舞いと

印象よくする振り舞いと

自分の立ち居振る舞いを意識することで好感度を上げる、印象アップのための講座が生田キャンパスであった。9月に身振りの練習をした。9月に身振りの練習をした。

印象よくする振り舞いと

自分の立ち居振る舞いを意識することで好感度を上げる、印象アップのための講座が生田キャンパスであった。9月に身振りの練習をした。9月に身振りの練習をした。



楽しく熱く

第50回体育祭が12月5日、生田キャンパスの総合体育館などで開かれ、16チーム1300人が参加し、ドッジビーを楽しんだ。写真。勝敗はドッジビーと本学にまつわるクイズ(走って○×で答える)との総合得点で争われる。白熱した戦いの結果、(CAMPUS DREAMS)チームがドッジビーでの大接戦を勝利し総合優勝を手に入れた。準優勝は「ごちゃませ」チーム。

外国語のススメ

外国語教育研究室

— 44 —

寺尾 格 経済学部教授

2015年8月末にロシア旅行をする機会があった。せっかくなのでNHKロシア語講座4月号のテキストとCDを購入して、張り切って聴いてみた。ところが、おでんの中のとろけ卵のごとく、全く頭に入らない。常日ごろ「集中と反復だ！」と学生諸君に繰り返している身としては、かなり情けない有り様となった。とはいえ、ザルで水をすくうようにひたすら繰り返すうちには、少しずつ染み込んでくる。入門レベルの勉強とはいえ、還暦過ぎの脳髓と20歳のそれとの相違をはじめとして、興味深い事実が幾つも見つかる。

例えばロシア語特有のキリル文字のX(ハッ!)は、ドイツ語の感嘆詞Ach!のchと同じ発音。P(エル)も、ドイツ語の「巻き舌のr」と同じ。III

▼ モスクワ「赤の広場」聖ワシーリー寺院

「(チャー)は、ドイツ語のschと同じく、「ウ」の口から発音される発音記号「J(シュ)」と同じ。極めつきなのがIIの文字であって、これは「I」の口の形で「ウ」と発音するのだが、実はドイツ語のUが、「ウ」の口の形で「I」と発音するので、ちょうどロシア語と反対になる。

ところで「これは誰のペンですか？」という初歩的な例文は、英語でもドイツ語でも、クソ面白くも何ともない文章であるのだが、し・か・し、これがロシア語では、「チヤアーエータア ルーチカア？」となるので、実に美しい「韻」のリズムが感じられて、妙に感心しているこのごろである。(外国語教育研究室長・担当はドイツ語)

※短縮版。全文はCALL教室ホームページで

美しくロシア語

ところで「これは誰のペンですか？」という初歩的な例文は、英語でもドイツ語でも、クソ面白くも何ともない文章であるのだが、し・か・し、これがロシア語では、「チヤアーエータア ルーチカア？」となるので、実に美しい「韻」のリズムが感じられて、妙に感心しているこのごろである。(外国語教育研究室長・担当はドイツ語)

※短縮版。全文はCALL教室ホームページで